

市町村名		国頭村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2- 癒し食メニュー開発及びモニターツアー実施事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第5章-3-(1)-イ			
	担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 -1-(1)		
事業内容	森林セラピープログラムの充実を図るため、「健康・長寿おきなわ」の根源をなす地域食材と4つのセラピーロードの特徴を活かした癒し食メニューを開発するとともに、癒し食メニューを含んだモニターツアーを実施した。							
実施方法	直接実施      委託      補助      負担      その他 (      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a)当初予算額	4,012					
		(b)予算現額	4,012					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	-					
	A.計(b+d)		4,012					
	B.執行済額		2,987					
	うち交付金充当額		2,389					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		74.5%					
予算の状況の説明		不用額の多くは、安価な航空チケットを使用による旅費の削減						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度 8	26年度 7-	27年度 5-		
	癒し食体験モニターツアー実施	目標	(モニターツアー1回)	( )	( )	( )		
		実績	モニターツアー1回					
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明	癒し食開発、モニターツアー実施とも予定していた事業は実施できた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度 8	26年度 7-	目標値(29年度)	
	癒し食体験モニターツアー参加者数	目標	( - )	( 10人 )	( )	( )	( )	
		実績		17人				
	【参考指標】(自主事業) 森林セラピー体験ツアー参加者	目標	( )	( 50人 )	( 60人 )	( 70人 )	( 年100人 )	
		実績		88人	58人	57人		
進捗状況説明	H24年度事業にて森林セラピーの魅力を高め集客アップを目指し、地域の食材を活かしたヘルシー弁当やヘルシー料理の「癒し食」メニュー開発及びその食事付きモニターツアーを企画し、関東圏、関西圏、九州圏とまんべんない参加者が得られ、予定の10人を大幅に上回る17人の参加による森林セラピー「癒し食体験モニターツアー」を実施した。参加者のアンケートでも約80%の満足度が得られ、体験メニューの周知・広報に力を入れるべきとの声が多くあった。しかし、25年度以降癒し食メニュー付きガイドツアーが5,000円以上の参加費を要するためか、体験参加を要望する利用者が表れない状況にある。また、自主事業で実施している森林セラピー体験ツアー参加者も、参加者数が伸びない状況である。またまた、森林セラピーの認知度の低さと、利用料金の割高感が災いしていると思われるため、各種イベントでのPRやWEB等を活用した森林セラピーの周知を図っていく必要がある。							

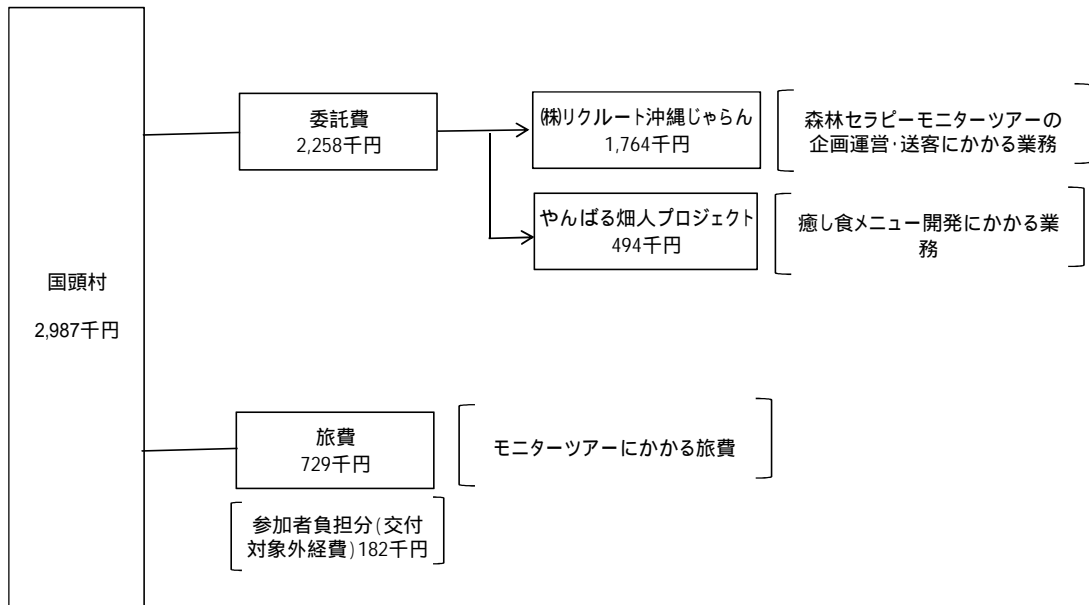
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・H24年度事業でモニターツアーの実施、ガイド認定システムの構築により、受入れ整備はある程度整ったものの、専属の運営スタッフが配置できないため、森林セラピーの周知・広報活動が手詰まりな事もあり、体験希望者が伸び悩んでいる。森林セラピーの認知度の低さと、利用料金の割高感が災いしていると思われるため、各種イベントでのPRやWEB等を活用した森林セラピーの周知を図っていく必要がある。</p> <p>また、平成25年度の「森林セラピー推進事業」にてガイドで組織する国頭村森林セラピー協会を立上げ、平成26年度事業「森林資源活用推進事業」にて受入れ組織のさらなる強化を図ったが、一般の森林セラピー体験希望者が少ないため自主運営が厳しい状況にある。森林セラピーの認知度の低さと、利用料金の割高感が災いしていると思われるためだと考えられる。</p>	<p>・森林セラピーの周知・広報を強化して、森林セラピーの魅力・効用の周知に努め、自然案内ガイドツアーとの違いを理解させ、割高感を解消して誘客増を図るため、森林セラピー活動を担う国頭村森林セラピー協会の自立化を目指し、役員改選も含めた体制強化を図る。</p> <p>森林セラピー協会の自主事業にて、村内各種イベントでのPRやWEB等を活用した森林セラピーの周知を図っていく。</p> <p>さらに、森林セラピーの魅力度を向上することにより体験料金の割高感を解消するため、認定ガイド等の指導による新任ガイドの研修の機会をつくり、ガイド技術のステップアップを図る。</p> <p>また、食事付き森林セラピーの魅力を伝え、癒しメニュー付き体験ツアーの実施を図っていく必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

・平成27年度は、国頭村森林セラピー協会の役員を改選し、交付金事業にてガイド技術の底上げのためステップアップ講座を4回実施し、並行して認定ガイドを5人増やし受入れ体制強化を図るとともに、自主事業にて村内各種イベントと連携したモニターツアーの実施、県内各イベントでの森林セラピーPR等を行い周知及び誘客を図っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,169	2,987	2,389	598	182



資金の流 れ、点 検 評 価 目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	必要最小限の予算により、事業を行うことができた
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	